

5 - 4 静岡県西部の地震活動

Seismic Activity in the Western Part of Shizuoka Pref.

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

静岡県西部の春野町付近では、1986年3月から5月にかけて浅発地震活動が活発化した。

第1図は1978年以降の静岡県西部から愛知県東部にかけての地域に発生した地震のうち、深さ30km未満の浅発地震の震央を示したものであるが、同図中、四角形で囲んだ地域の地震活動について報告する。

第2図は上記地域内に発生した地震の積算回数及びM-T図である。

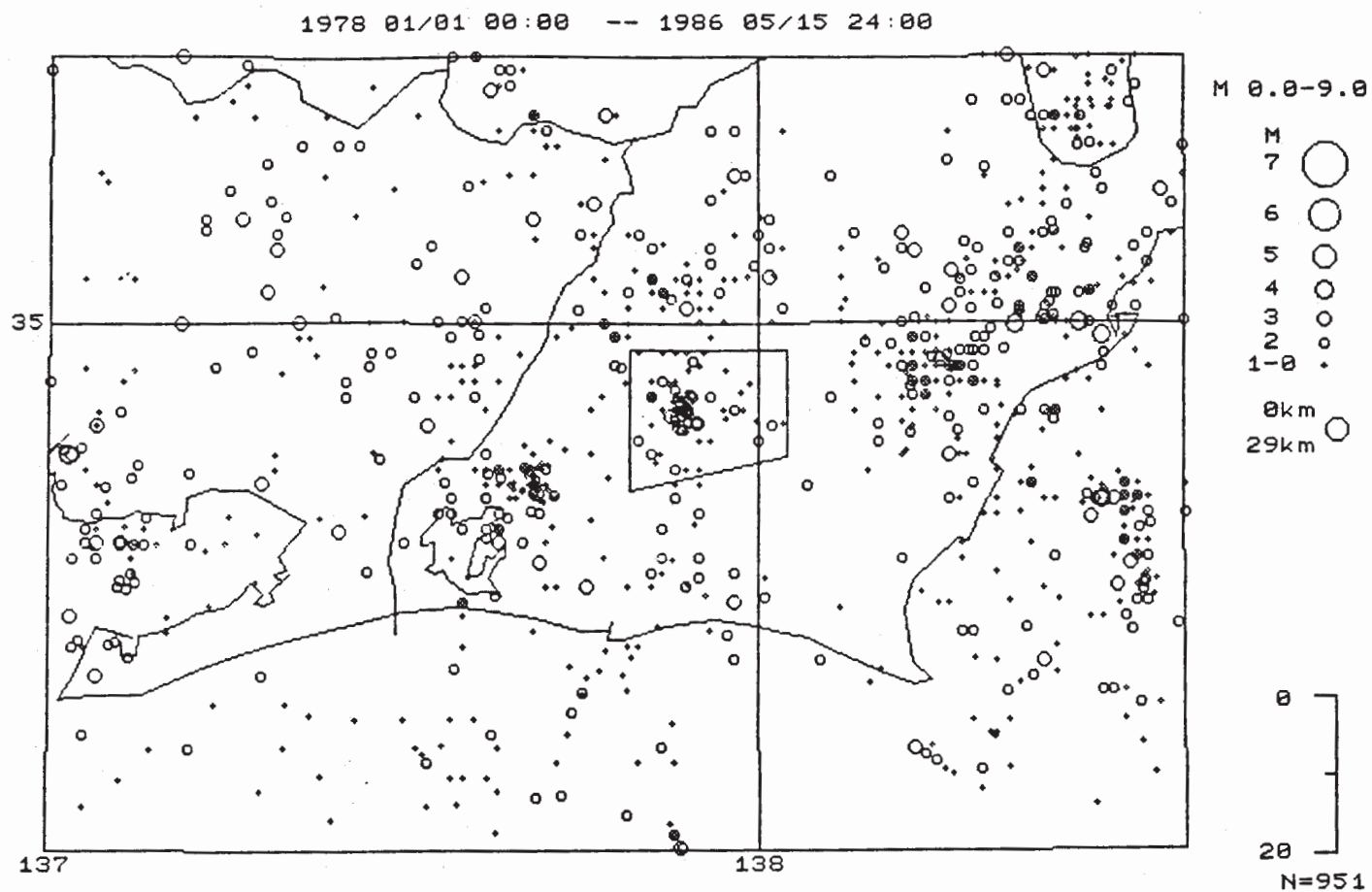
この地域では1978年以降71回の地震が発生しているが、期間別の平均的な年発生回数をみると、1979～1981年は、約7回/年、1982～1984年は2～3回/年、1985年は13回/年と各期間で変化している。また、マグニチュードも1985年11月20日の地震以外は全てM:3以下の小規模な地震であった。なお、この期間、地震観測網には大きな変化はない。

しかし、1986年3月以降、地震発生回数は急激に増加し、5月5日までに29回発生した。このうち最大マグニチュードは3月18日のM:3.7*で、1978年以降最大のものであった。この期間の規模別地震積算回数(第3図)からb値を求めると、下限を変えることにより値は変動するが、概ね0.6程度となり、やや小さい値が得られる。

これらの地震のうち3個の地震についてメカニズムを求めると、第4図*に示すように、いずれも、東西主圧力軸のStrike Slip型となる。

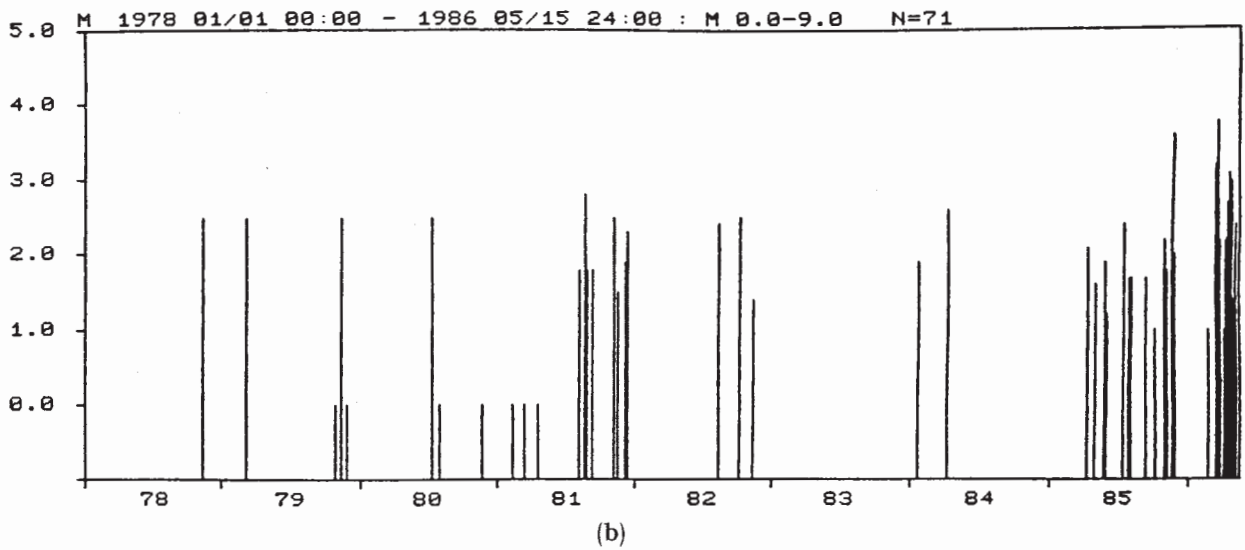
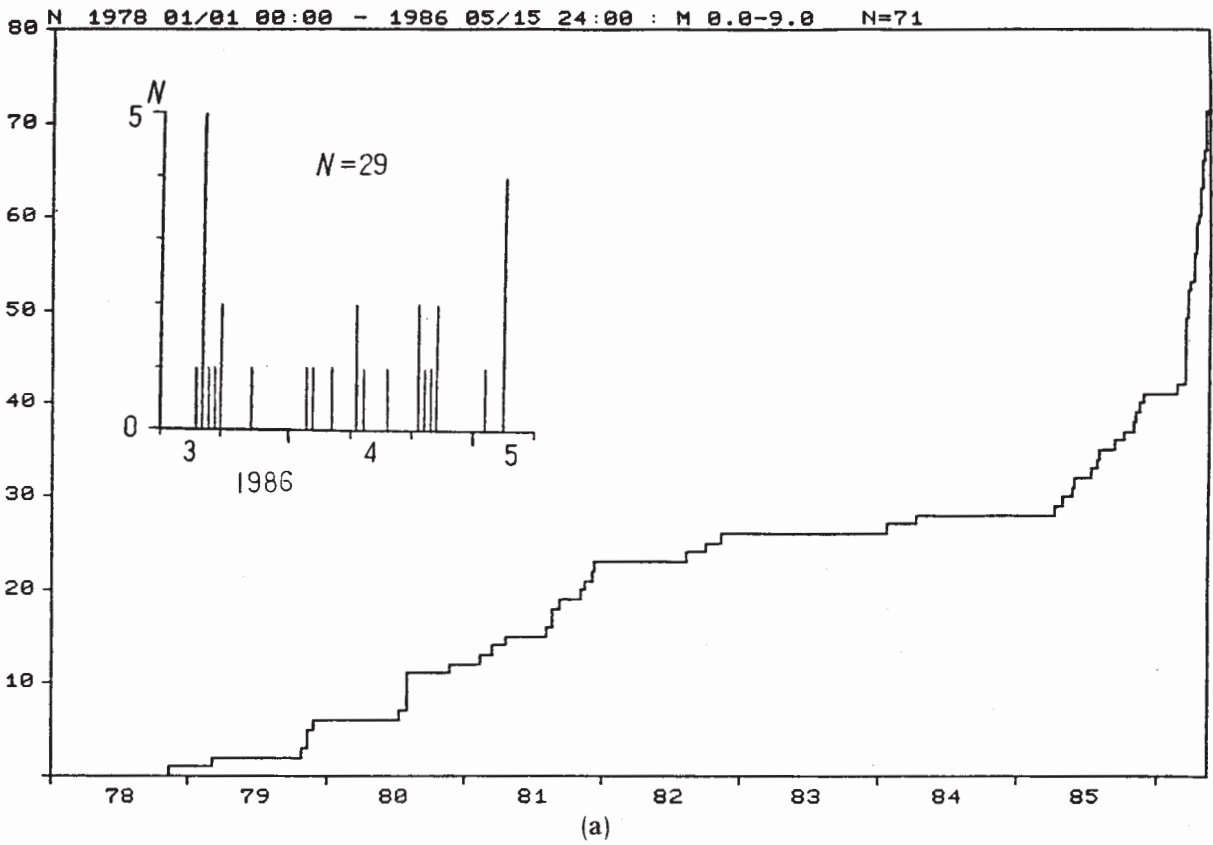
なお、5月6日以降、同地域の地震活動は静穏化している。

(注) *は最終リストによる結果を示す。これ以外は暫定。



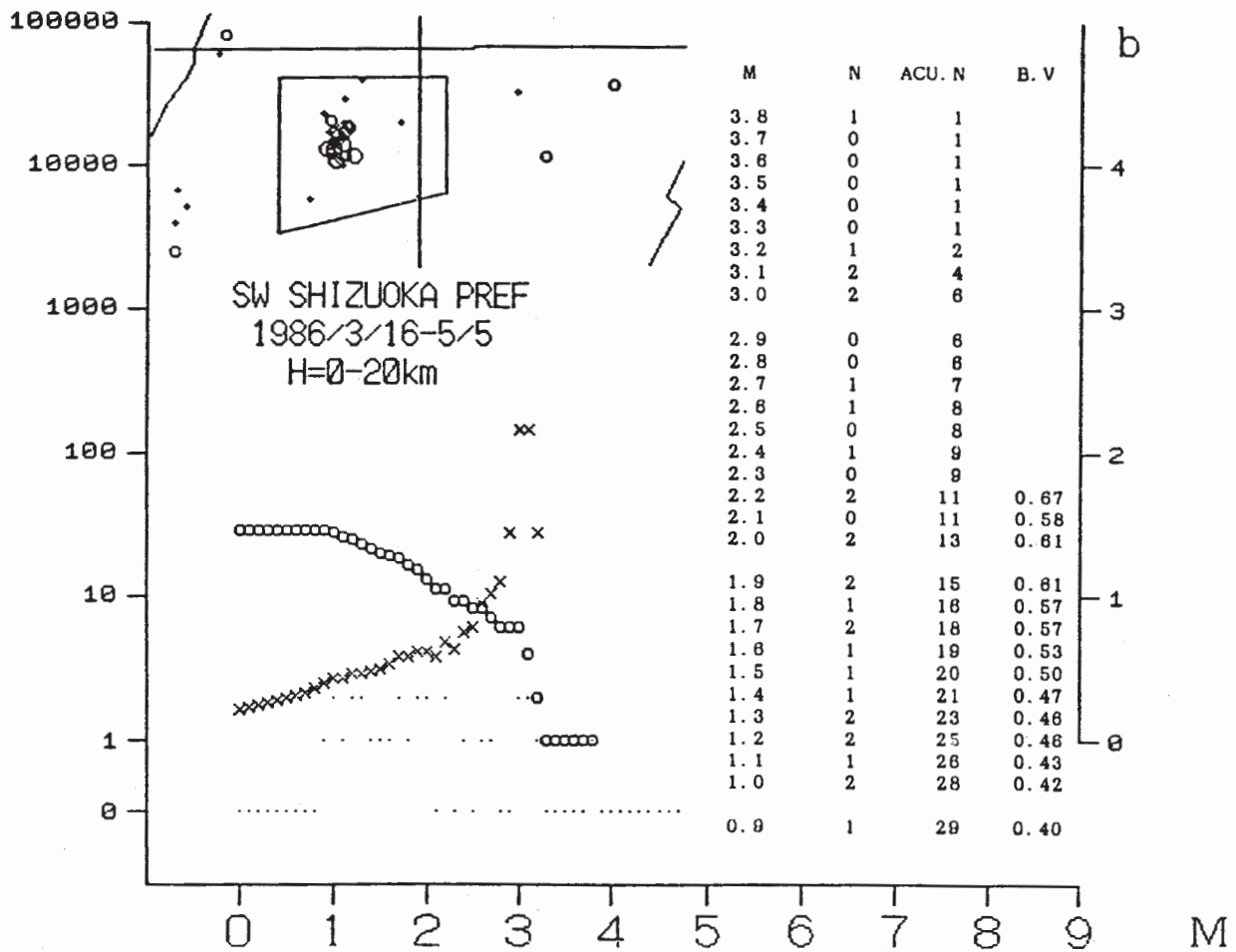
第1図 静岡県西部から愛知県東部の浅発地震の震央分布
 (期間 1978年1月～1986年5月, 震源の深さ0～29km)
 図中四角形内の地震活動を第2, 3図に示す。

Fig. 1 Distribution of epicenters of shallow earthquakes in the western Shizuoka and eastern Aichi region.
 (Period: January, 1978 - May, 1986. Focal depth: 0 - 29 km)
 Seismic activity in the quadrilateral region is shown in Figs. 2 and 3.



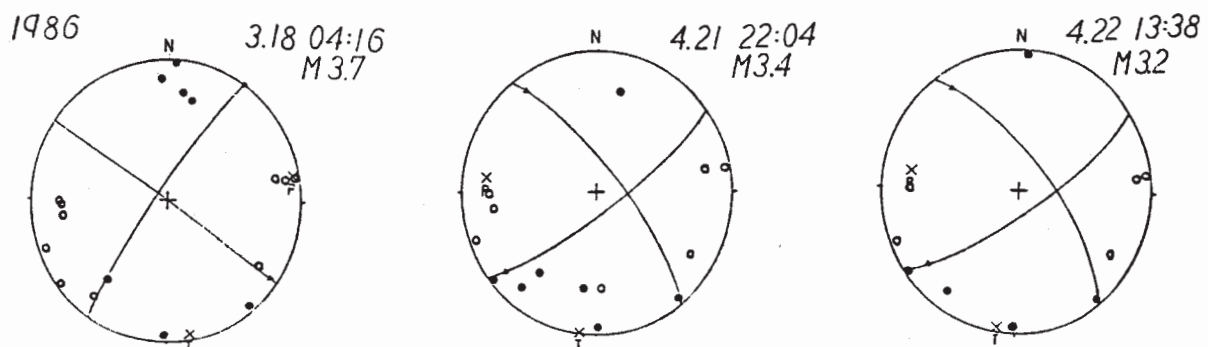
第2図 (a) 地震積算回数 (1978 ~ 1986年) と 1986年3月~5月の日別地震回数
(b) M - T 図

Fig. 2 (a) Cumulative number of earthquakes and daily number of earthquakes from March to May, 1986.
(b) M - T diagram from 1978 to 1986.



第3図 マグニチュード別度数分布とb値

Fig. 3 Magnitude frequency distribution and b-value.



第4図 地震のメカニズム解 (上半球投影)

Fig. 4 Focal mechanism solutions.
(Projected on the upper hemisphere)

● : up ○ : down